

特定中山間保全整備事業「阿蘇<sup>あそ</sup>小国郷区域」効率的  
整備手法検討第三者委員会議事概要について

- 1 実施日 平成19年8月28日(火) 12:30~15:30
- 2 場所 南小国町南小国町自然休養村管理センター
- 3 出席者
  - ・第三者委員 泉 英二 国立大学法人愛媛大学農学部教授
  - 宇根 豊 農と自然の研究所代表理事
  - 小林 雅裕 石川県立大学生物資源環境学部教授
  - 宮城 道子 十文字学園女子大学人間生活学部助教授
  - 矢橋 晨吾 国立大学法人千葉大学名誉教授
  - (敬称略、五十音順)
- ・事務局 農林水産省農村振興局農地整備課長ほか
- 4 議事の概要
  - (1) 現地調査及び意見交換  
現地調査実施後、今後の事業の実施にあたっての資料説明及び意見交換を行った。
  - (2) 第三者委員会の意見  
別紙のとおり第三者委員会として意見のとりまとめが行われた。

## 特定中山間保全整備事業「阿蘇小国郷区域」 効率的整備手法検討第三者委員会の意見

特定中山間保全整備事業「阿蘇小国郷区域」効率的整備手法検討第三者委員会の意見は、次のとおりである。

事業実施にあたっては、概ね示された方向性でよいが、以下について特に考慮すべきである。

- ・ 間伐材の利用や環境への配慮等、様々な創意工夫を凝らして事業を進めてきており、本事業の成果を他の中山間地域整備にも活かすべきである。
- ・ 貨幣換算できる効果だけでなく、経済性・効率性で測れない効果についても、今後精力的に説明を行っていくべきである。
- ・ コスト縮減のみにとらわれることなく、必要な整備については、地元関係者等の理解を得つつ対応すべきである。
- ・ 本事業を契機として、地域住民の自然環境や地域文化等に対する住民の意識が深まる取組を積極的に展開すべきである。
- ・ 地元関係者とのパートナーシップを強化することにより、本事業が、将来の阿蘇小国郷区域の振興に貢献できることを期待する。